

🐟 わくわく！ きんせい水族館 🐟

対象児：2歳児ひまわり組
作成者：坂本七海
作成日：2024.2.6

○ねらい：自分の作品、友達の作った作品を見て感じたことを、言葉にして表現しようとする。



私のあった！

○保育の振り返り



タコ！すご〜い！



どーやって
作ったのかな？

お星さまみた〜い！



すご〜い！雨みたい！

作品展の製作では、乳児3クラスで力を合わせて砂浜と貝殻を作りました。作品展が無事終了し、保護者の方と一緒に見に行行って楽しかったことを教えてくれました。展示してからクラスで見に行っていなかったのも、子ども達に「みんなで行ってみる？」と誘ってみました。「行きたい！」「お魚がいっぱいおるんよ！ママと行ったんよ！」とワクワクした様子で、クラスの活動として初めて全員でホールの作品を見に行くことになりました。約束事として、①走らず歩くこと、②作品には触れずに見ることを伝え、みんなが作った作品が壊れてしまわないように繰り返し伝えました。ホールに入ると、「タコ！大きいタコがおる！」「この星のやつ（ヒトデ）かわいいなあ。どーやって作ったんだろ？年長さんかなあ？」と、作品を見ながら感じたことを、友達や保育者に伝える姿がよく見られました。作品を見た後も、「楽しかった！」「サメかわいかった！」「サメの歯がピンク色だった！」と言葉にして伝える様子があり、子どもの着眼点に驚くことが多々ありました。ただ製作をして飾るだけでなく、飾った後に「〇〇が上手にできたね」「難しかった？」と子どもたちとゆっくり話をすることが大切だと感じました。（豊かな感性と表現、健康な心と体、言葉による伝え合い）